

中3

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

孫の心情やその時の状況は本人しかわからぬけれど、記事を読むとその時の状況がなんとなくわかるような気持ちになりました。

本人に話は聞けなかつたのにまるで「本人から話を聞いたかのように書かれているのがすごいなと思いました。
分かりやすく、私達でも読みやすい記事を書いていらっしゃるのにすごく尊敬しました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

私はあまり記者といふ職業のこととあまり知りませんでしたが、「加害者や被害者の方々の
あまり思いたくない」とされたほうが「している」という認識でしたが、今回の話を聞いて、
たくさんの人にも同じようなことを起さないようにや、「興味や関心をもってほしい」という
思いがわって、取材をいいるのだとわざと思いました。
また事件については、介護している側の人間へのサービスや政策・理解が生まれない限り、
きっとまた同じようなことがくりかえされるのではないかと考えました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記事の細い所までこだわっていてすごいなと思いました。

記事を書くのにヒリつくまで大変だということを今まで知らなかったのでびっくりしました。たくさんの所に取材に行、ここでコミュニケーションが大切なんだなと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

取材する、というのには、いろんな段階があるって驚きました。

当事者の方へ取材したり、関係のある職場などを特定したりと
とても大変だなと思いまして。

相手の気持ちを考えつつ、アモルティファイぬいに真実を書かないといけないって
感じました。"しんどいと思うけれど、出来めが、[=記事のおかげで] 私たちが知ることが
出来るので"、とてもやさしいのある仕事だな、と思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

取材の時に気をつける点や文章の書き方など、事件の事も含め貴重なお話を聞く事ができ、私にとって充実した時間になりました。「迷惑」と「公共性」のバランスの話が印象的でした。事件などが記事になってしまる時によく「この家族は嫌いやかいのかい」と考えることがあつたので、こんな風に記者の方が考えて報道しているのだと思うと、とても難しいところだと感じました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

聴きとりにくく、大体しか理解できませんでした。

取材する方法として、今回の女性の場合、親族や本人にきて……ものか、

というの(は)わかりませんでした。取材するところは難いもので、つかう形にするところも難しそうだなと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

多くの人に取材して話を聞いて、裁判にも通じ、記者はすごい根気のいる仕事だ
な、と思いまして、取材して得た情報も、正しいものなのか誤り、どちらかの判断にな
らいけなか、たり大変な：とか「タリ」んだ"はと改めて感心します。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

他人にもその人の領域があり、その領域の重要性を公共的に見て、その記事の重要な
バランスか、記事を出すというときに重視のしかば、2.3あたりうと感いた。

取材についても取材する方法や、取材相手への気量・などぞ知り、新聞について
より深く知る事に感いる。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

- やっぱり、現場に自ら行くことで自分が得た感触があつんだなと感じました。
- 話を聞けながらとてつて諦めることなく、ねばねば頼むことで話を開けてもらう
「情報を得る」ことができる
- 人の謹言とかじゃなくて、自分が見つけた（疑問など）をしゃべり謹言にはまらない
意見側にも伝わるなどが分かりました。
—— ちゃんと自分の考え方もあることが大事

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

講演を聴いて、介護する側に目を向ける大切さを感じました。
少子高齢化が進んでいく世の中で、このような事件が起きていい
ように思うには介護する側に手を貸すべきだと思います。
介護の問題は自分には関係ないと見て見ぬふりをして。
正面から見てみたらと考えられます。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記者の方々は裁判や家族に話を聞いてリして、記事を作るのは大変ということがわかりました。
家族の方に話を聞くのは時間がかかるても話を聞くとしていいすごいなと思います。

取材の方法も教えて下さって記者の方々は国民に伝えるためにも具体的に内容を調べ
ていて、一番何を伝えたいのかを考え、シンプルでわかりやすい記事になつていろんだなど
思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記事にするまで、とても時間がかかることは、今に11分かかったけれど、実際にどの
よリに取材をしまとめている、今は知らないから、とても思って11以上に大変そうに思いました。
今回この記事を読んだとき、題名から女性の印象はあまりよくありませんでした。けれど読み進めるうちに
誰が更に11分からなくなってしまった、TVで見た時は特に感じなかったけれど一文字ずつしっかり読むと最初に
感じた女性への印象が少しずつ変化しました。私はあまり記者が好きではありません。いろいろなことを書いたりする
からです。けれど、今回の記事や記者の会話を聞き、私たちはニュースの題名だけで印象づけないで、少し
記事を読み頭で考えて自分で何が真実かを見極めることが大切だと思いました。そのために記者という眞実を私たちに伝える
人も必要だと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

今回講演を聴いて記者の方が記事を書く時、こに"やりや取材の構え(ふと)"
を知ったのがいまいた。取材した内容を文字に明確に表すのは
とても大変だと思った。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記事を一つ完成させるためにも相当な作業と大変な苦労があることが分かった。記者特有の悩みなど、普段では聞けない話を聞くことができてとても為になった。

事件の裏の複雑な事情など、改めて向き合っていかなければいけないと感じる。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記事を読むよりも、実際に聞いた方が、

"やはりやさしくて、読みやすくてない、たまといも
あつたので、おこなうやうかりやすか、たゞす。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

とても貴重な話をたくさん聞くことができました。私は、普段あまり新聞を読みませんが、毎日の新聞の中に記者の方の思いや、私たちへのメッセージが込められていると知り、これからは新聞と触れあう機会をもつて増やしたいなと思いました。取材するのもただ話を聞くだけでなく、取材される方のことを考える必要があると知ることができました。取材するのを良く見われしない方に対しても、本当のことと知るためにねはり強く取材する記者の方は改めてすごいなと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

取材を必ず受け入れてもらえるわけでもなく、相手の気持ちを考え
たりながら取材するのも大変だと覺りので、記者の方はすごいな
と思った。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

今回の講演を聞いて、どのように取材は行われているのか、どのようにして事実を伝えるのが知ることができました。私たちが普段何気なく読んでいる新聞記事などは記者の人達が沢山の情報を集めて、正しい事実を見つけてくれるからこそそのものだと思いました。取材のポイントや大切なこと、記事を書くときに気を付けていることなど役に立つことを沢山学べたので、大切にしていきたいと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

・当事者・資料・現場がポイントです。

①警察に行って当時のことを聞く。

②自分で現場に行って近所に話を聞く。

③

〈感想〉

講演を聴いた感想は記事のことは知って
いて内容は分かってとてもよい貴重な話
だったのです。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

普段から、よく目にしている新聞の記事を書くのに、こんなにも色々な人に取材して、聞いて、色々な場所に記者さんが行っていると知って驚きました。

私たちは授業などで新聞の記事を作る機会があるけれど、短い記事でも難しく大変なのにそれを書いて、大きく新聞に載っている記者さんの大きな勞力を感じてスゴイと思い、それと一緒に感謝の気持ちになりました。

"記者"という職業について私はあまり詳しくないけれど、今回の講演で少し知れて良かったです。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

講演を聴いて思ったことは新聞記者の人は嫌がらずとも眞実をめんたい伝
えなくてはならぬのでとても大変で、女性にも直接聞けなかつたり、とい
るので新聞記者の人は資料や現場、親族からの話題にめんたい
に伝えたりとを新聞に書くなといつた。この「新聞記者は」と、
大変にうれしくやりがいのある仕事だなと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

私の中の記者は家に急に押しかけてきて失礼な質問をされるというイメージが強くて、本当にそんな事があれば怖いと思っていたのですが、一応質問する内容もオフラートに包んでいたり、少しほ配慮をしていたので、イメージが変わりました。そして取材をする時、家族の方に怒られるような事もいくらかあると思うと精神的にも疲れてくると思うので、大変な職業だと思ったし、新聞を読む人の為にそのような思いをしてまでも伝えようとしていると思うと感謝しかないです。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

1つの記事を書くのも、多くの人が関わり、そしてとても時間がかかるということが分かりました。取材の流れを聞いてそう思いました。取材をするために実際に事件現場に行くということも「痛い」と思うし、事件について、取材に応じてくれる人も少ないこともあると思うので、精じて的にも記者は強くなければ「死んでいく」ことが困難だ」と感じました。毎日目にしている新聞は、どのように多くの記者が何をもけて作り、私たちに正確な情報を届けてくれるかという点に留め感謝したいと思します。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記者の方も聞きづらいことがあつたり、実際に怒られたり
したそうで"すが、きちんと目的をもって話を聞くことが
大切だ"と思いました。

記事を作る大変さ、難しさを知ることができました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

とても興味深い話でした。記者がどのように取材をしているのか、何を大切にしているのか知ることが出来ました。私は記者という職業に憧れていますので、今回これで「記者」という職がどんなものなのか、どのようにして人々に想いを伝えしていくのか知ることがで、とても嬉しいです。“何を伝えたいのか”“何を伝えたいのか”とても大切なことがありました。読みやすく分かりやすい文章で書くということは大変だと思します。“事実を伝える”記者は社会と向き合う凄い職業なのだと改めて感じました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

新聞はよまないけれど、新聞記者はとても大へんだとと思いました。

家族の人々に話をきいても怒りをかうだけかもしれないし、近所の人々にきいても事件を起こした所の話しあはしたくない。関わりたくないって色々と思いました。

世人の人たちに事件やNewsを伝えるには、新聞記者さんは大切だと思いました。

話をきいて今後このような事件が増えると私も思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

普段、当たり前のよう^にに、新聞の記事を読んでいたけれど、その裏には取材する人の努力や、思い、事件の詳しい情報など、たくさんの中身がかくされたのかと思うと、簡単な仕事ではない、私たちは、大きめの刺激を与えてくれる、生活に欠かせないものだと、改めて感じることができました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

当たり前のようにある新聞ですが、記者の方が色々ないお話を聞いて
事件現場下足を運んで、感じた事や聞いたことを文章にりふるという決して
簡単ではないことをよりの職業はたりハド"なと思いました。
もしこれから記事を書く機会があれば"「当事者・資料・現場」を探し
聞く"を思い出して記事を書きたいです。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

講演を聴いて分かったことは、おこった事件をもとに、犯行は及ばずとも、同じ思いをかかえている人、また問題などはどこにでも起きていることなのではないか、ということをさまざまの人々に知つてもううために記者の人は当時者を取材している、ということです。また、取材内容をなるべくたれにても分かりやすい表現、易しい表現で"記事をかく、ということも、より、さまざま的人々に矢つてもううための工夫なのだ、と感じました。

そして取材するための方法で"事件現場に行き、現場を見てそこの雰囲気を肌で感じたり、さまざまな考察を立てていく、ということに記者の人は、ただ当時者をインタビューするだけではなく、

ありとあらゆることから情報を得ていく力が必要とされているのだ、と感じました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

簡単に情報を得ることができないことにびっくりました。今回なくて本人に直接聞ければ、弁護士や近所のちや裁判の発言だけでもこのとても分かりやすいくらい記事を書いていることがすごいと思ひました。

取材の大変さやひどさはもちろん、フライハイシーを守りながら、こんなにくわしい情報を手に入れていることも驚きました。今回の事件は裁判の発言が主にならないので、事件発生から多分時間がかかる記事だけ、普段は30分で取材、30分で記事を書くということを聞いて30分という短い間でできてしまうことに驚いたので、600い800字という小さなオモイはいくらいの量に分かりやすく正確に書かなければなりません。事件のときの状況(天気、朝なにしたか、服装)などできました"けたくさんの質問をして細かく聞かなければともひく、くりし、すごいと思いました。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

記者になるには強いマーケタルも必要なんだと思いました。理由は二つあります。1つ目は複雑な事件について取材することです。今回も1人の方が亡くなられて、ひどい事件だし、もっと悲しい事件もあると思いました。でも、事實を伝えるために正しいことを取材しないといけなくて大変だと思ったからです。2つ目は、取材する上です。韓国人も家族に怒られて“すごく怖かった”と言っていたしつらいい仕事なんだと思ったからです。10人連続で取材を断られても、11人目は受けてくれるはずだと思えるのは強いマーケタルが無いとできないと思います。3つ目は記事作りです。韓国人も記事を書いたがまほ直さんとのときが何回もある、とおっしゃっていて一筋縄では行かないんだと思いました。でも、韓国人も記事を直した人も正しい情報を伝えたい”という意志は一緒何だと思います。

講演を聴いて思ったことや考えたこと：

- ・ 言ひ者、いう人は事は単に取材だけで文にまとめるだけでなく現場、裁判所へ足を運び色々な人から話を聞くという大変な仕事なんだなと改めて感じました。私がこの講演で
- ・ 序じてるのは車両수가がしゃって「現場に行き肌で感じる」という事です
- ・ 記者の方はから思える事なんだうなと思いました。有意義な時間になりました。